



1 京都岡本記念病院

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口100
 TEL 0774-48-5500

- ひまわり保育園
 京都岡本記念病院内
- くみやま岡本病院(2025年開院予定)



2 伏見岡本病院

〒612-8083 京都府京都市伏見区京町9-50
 TEL 075-611-1114

- 居宅介護支援事業所 ふれあい
 〒612-8082 京都府京都市伏見区両替町14-157
 TEL 075-622-5539
- 訪問看護ステーション ふれあい
 伏見岡本病院内
 TEL 075-603-7643
- 伏見岡本デイケアセンター
 伏見岡本病院内
 TEL 075-603-7633

3 おかもとクリニック

〒611-0025 京都府宇治市神明石塚54-18
 TEL 0774-45-4110

- 岡本介護支援センター ひまわり
 おかもとクリニック内
 TEL 0774-46-7831
- 訪問看護ステーション ひまわり
 おかもとクリニック内
 TEL 0774-46-1711
- おかもとクリニック通所リハビリテーションセンター
 おかもとクリニック内
 TEL 0774-46-0011
- 宇治おかもと安心介護の家(小規模多機能型)
 おかもとクリニック内
 TEL 0774-46-3311



くみやま岡本病院 2025年4月 開院

- 所在地 久御山町佐山(京都岡本記念病院の南側)
- 病床数 100床
 - 回復期リハビリテーション病棟 50床
 - 地域包括ケア病棟 50床
- 地上6階(延床面積 約9,399.44㎡)

工事着々.....

社会医療法人 岡本病院(財団)では、京都岡本記念病院の南隣に新しく「くみやま岡本病院」を建設中です。工事期間中は何かとご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

くみやま岡本病院

Step Up

みんなで一歩

2024年
 秋号
 Vol.351

社会医療法人 岡本病院(財団) 広報誌「Step Up」2024年10月発行 Vol.351 発行：社会医療法人 岡本病院(財団) 印刷：株式会社ITP



特集
もっと身近に「緩和ケア」
 京都岡本記念病院 緩和ケア科

カラダからだ
楽しく実践!
「肩のリハビリテーション」講習会
 伏見岡本病院 リハビリテーション科

もっと身近に「緩和ケア」

京都岡本記念病院 緩和ケア科 新設

京都岡本記念病院では2024年4月から新たに丹波和奈副部長を迎え緩和ケア科を開設しました。



「緩和ケア」とは？

重い病気を抱えている患者さんやそのご家族の、からだところの苦痛を和らげ、患者さんが「その人らしく生きていくことを支える」ためのケアのことをいいます。もともとはがん患者さんが主な治療対象でしたが、心不全や神経難病などがん以外の病気に対する緩和ケアも少しずつ発展してきています。

病気と闘うこと、病気と共に生きること…その両方を支えるための医療です。



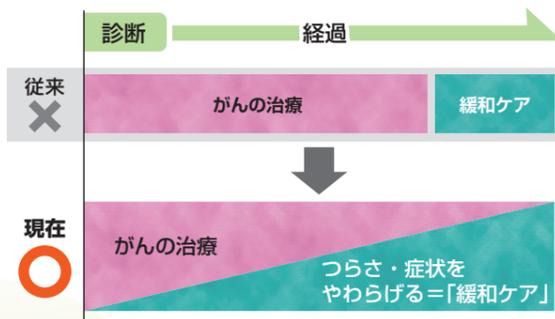
京都岡本記念病院に緩和ケア科ができました！

2024年4月より緩和ケア科が開設されました。緩和ケア科が得意なことは、患者さんの苦痛を取るための治療を考えると、患者さんやそのご家族が困っていることを聞き取り、どう対応するかを一緒に考えることです。医師は2名と少ないですが、緩和ケアチームの看護師をはじめとしたさまざまなスタッフと連携して、外来から入院まで切れ目なくきめ細やかにサポートを行うことを目指します。

「がんと診断された時からの緩和ケア」といわれて久しいのですが、「緩和ケア科=がん終末期」のイメージはなかなか払拭できていません。緩和ケアを始めるのに決まったタイミングはありません。がんであっても、がん以外の病気であっても、重篤な病気のすべての時期において緩和ケアを始められます。主治医からの紹介が必要ですが、どうぞ気軽に相談にいらしてください。



WHO(世界保健機関)の緩和ケアの考え方



医師からひとこと

もともとはがん治療を頑張る医師の一人でした。外来や病棟で患者さんと病気以外の話をするのがとても楽しくて、もっと患者さん自身の人生に焦点を当てて仕事をしたいと思い緩和ケア科へ転身しました。

私自身ががん治療を提供する立場だったのでがん治療医の気持ちも分かるけれど、患者さんやご家族の気持ちにも寄り添いたい。そこで、がん治療を行う医師と、患者さんやそのご家族の良い架け橋となることを目標に仕事をしています。

緩和ケア科 副部長
たんば かずな
丹波 和奈



- ・医学博士
- ・日本内科学会認定総合内科専門医
- ・日本血液学会血液専門医
- ・日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医
- ・琉球大学卒 (H21年)

京都岡本記念病院緩和ケアチームについて

緩和ケアチームは医師、看護師、薬剤師、公認心理師、管理栄養士、リハビリセラピスト、ソーシャルワーカーといったたくさんの職種が協働して、がんをはじめとしたさまざまな病気で苦痛を抱える入院患者さんを支えるためのチームです。たくさんの専門家がそれぞれの分野の知識を持ち寄ることで、患者さんの苦痛を改善するための治療やケア、今後の療養についての相談など、幅広い困りごとに対応できるようになっています。毎週月曜日と木曜日にチームカンファレンスを行い、患者さんの病室を実際に回っています。たくさんの方がお部屋に伺うのでびっくりされるかもしれませんが、サポーターがたくさんいるのだと思ってもらえたらうれしいです。



ACP (Advance Care Planning) について

聞きなれない言葉かもしれません。厚生労働省では「人生会議」という愛称で呼ばれています。これは「もしものときに、どうしたいか」をあらかじめ話し合っておくプロセスのことを指します。緩和ケアでは「最善を期待して最悪に備える」という考え方が一般的で、もしものときのための備えをきちんとした上で、安心して目の前の治療に専念してもらえるようにということを常に考えて対応しています。

私たち医療者は誰もが病気を治したいと思って治療をしていますが、残念ながら治療がうまくいかないこともあります。「病気が悪くなることなんて、考えたくない」という気持ちを持たれることは当然だと思いますが、万が一に備えて、自分と自分の大切な人のために、もしものときのことを考えたり相談したりする時間を作ってもらえたらうれしいです。

何かを決めるのではなく、大切な人とたくさん話しておくことが一番大切です。



☑ 緩和ケア科を受診するには？

受診は完全予約制です。

■患者さん・ご家族へ

がん相談支援センターにご相談ください。

TEL 0774-48-5500 (病院代表)

営業日時: 月～土曜 9時～17時 (祝日を除く)

●当院に通院中の方は主治医にご相談ください。

■医療機関の方へ

地域医療連携室にご相談ください。

TEL 0774-46-5981 (地域医療連携室)

Withあなたの街のお医者さん

内科、循環器内科、呼吸器内科
村西循環器クリニック

むらにし 菜苗 院長



2024年4月開院の村西循環器クリニック。勤務医時代と比べ「患者さんとの距離感が近くなりました」と村西院長。総合病院では一刻を争う症例も多い心臓血管外科や循環器内科に携わった。「焦って治療するのが癖になっていて。でも、かかりつけ医は1回でやりきるのではなく、徐々にやらなくては」

「心臓や循環器の病気は発症してしまうと重篤で大きな手術になる場合も多い。本人にもご家族にも負担です。心臓病の多くは生活習慣病を放置して起こるので、心臓病に進展するずっと手前で、高コレステロール血症、高血圧など生活習慣病を見つけて治療できれば」。そのためには、気軽に話しやすいかかりつけ医として、日頃から来てもらうことが重要だ。病気に直接関係ない話も「人となり分かる」とじっくり聞き、「どう言えばその人に響くか、人間関係を築くところから」だ

と言う。生活習慣病治療は国の指導で「療養計画書」を患者とともに作成しなくてはならない。「生活習慣は、その人が今まで生きてきた履歴。上から目標を押し付けるのではなく、全部を否定することから入るのではなく、一旦現状を受け止め、それから患者さんと一緒に考えたいと思います」



京都府南部では対応する病院がほとんど無かった下肢静脈瘤手術にも対応している。



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00-12:00 診察	●	●	●	—	●	●
13:00-16:00 検査/手術/訪問診療(予約制)	○	○	○	—	○	—
16:00-18:00 診察	●	●	●	—	—	—

※臨時休診となる場合がございます。
※夕診の受付は17:45までとなります。
休診日：木曜、土曜午後、日曜、祝日

所在地 〒619-0247 京都府相楽郡精華町粕田1丁目13-16スーパーサンフレッシュ粕田駅前モール内
電話番号 0774-74-8133
アクセス 近鉄粕田駅徒歩1分 JR下粕田駅徒歩3分
URL <https://muranishi-clinic.jp/>
駐車場 70台



▲WEBページ



食欲の秋！
レンコンの魅力

京都岡本記念病院 栄養管理科
後藤 聡子 (管理栄養士)

「あな～のあいた、レンコンさん♪」皆さん幼児期にこの歌を聞いたことがあるのではないのでしょうか。11月17日はレンコンの日です。茨城県でレンコンサミットが開催されたことから、日本の記念日として知られるようになりました。

レンコンは10月～3月が旬の食べ物です。穴が空いていて向こう側が見通せることから、「将来の見通しがよい」という縁起ものとされ、正月や慶事などのハレの場でも食べられています。

栄養価としては糖質や水分が多く含ま

れますが、不溶性の食物繊維も多く含んでいるため腸内環境を整えてくれます。またビタミンCは強い抗酸化作用があり、疲労回復効果や免疫力の向上が期待できます。シャキシャキと歯ごたえがあるので、食べる時に咀嚼(そしゃく)を促し満腹感につながることもおすすめできる理由の一つです。

品種や部位を変えて調理するとまた違った食感を楽しむことができます。秋の味覚をぜひおためしください。



カラダからだ

～自宅で介護・介護予防 アドバイス～
身体介助やリハビリなど「身体」に関わる専門職ならではの知識や技術を、分かりやすくお伝えします。

レポート

楽しく実践！「肩のリハビリテーション」講習会

伏見岡本病院 リハビリテーション科 門田 美咲 (理学療法士)



健康寿命を延ばすために伏見岡本病院リハビリテーション科とNPO法人京都運動器障害予防研究会(共催)は、地域在住者向けの講習会を開催しています。

6月22日、3回目となる「肩のリハビリテーション」を実施。前回に引き続き講義と実技(自主トレーニング)の講習会は大変好評でした！その様子を一部ご紹介します！

肩の講義はリハビリテーション科の技師長である三浦雄一郎が担当しました！スライドを使用して肩の構造や機能について説明しました。普段知る機会の少ない肩関節について、皆さん真剣に学ばれている様子でした！

講義のあとは資料を配布し、皆さんで実際に行いながら自主トレーニングを実施しました！



▲エコーで自分の肩を見る体験も！皆さん興味津々です！

当日行った自主トレーニングについて一部ご紹介します！

肩関節には姿勢が大きく関係します！

壁に背中全体と頭がつかない場合は…

胸をそる運動や、うつ伏せが姿勢改善に効果的です！

椅子などを使用し、良い姿勢をキープした状態で腕を上げるエクササイズも効果的です！

ぜひやってみてくださいね！

70th

地域を支え地域に支えられ 診療所開設から118年。法人となって70年。

社会医療法人 岡本病院(財団)は1906(明治39)年に地域の診療所として誕生し、1954年に法人組織となってから、今年で70周年の節目を迎えました。
これからも「地域を支え、地域に支えられる病院」として、地域医療・介護に貢献してまいります。



1979(昭和54)年
宇治市に第二岡本病院を新築開院



2025(令和7)年
久御山町佐山(京都岡本記念病院南隣)に
「くみやま岡本病院」が開院

1954(昭和29)年
医療法人岡本病院(財団)発足



1906(明治39)年
京都市伏見区両替町に
診療所開設

2016(平成28)年
第二岡本総合病院を久御山町佐山へ
新築移転「京都岡本記念病院」と改称



新着任医師

2024年8月1日入職

きただ ゆき
北田 友紀

京都岡本記念病院
脳神経外科/医長
大阪医科大学卒(H19年)



資格など

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医/日本救急医学会救急科専門医

患者さんへ 目の前の患者さんに良い医療が届けられるよう、頑張りたいと思います。脳腫瘍、くも膜下出血のほか、顔面痙攣、三叉神経痛の手術も対応できます。

未来の人材育成にご理解を

京都岡本記念病院は研修医を教育する病院です

京都岡本記念病院は厚生労働省指定の基幹型臨床研修病院です。
医師免許を取得した医師には、2年以上の臨床研修が義務付けられています。
当院では研修医が患者さんの診療に当たらせていただくことがありますが、指導医を配置して責任ある診療を行っています。
臨床研修の主旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。



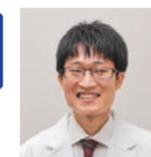
臨床研修プログラム
責任者
みやた まさとし
宮田 正年
(消化器内科主任部長)

未来を担う医師たちです

研修医は医師であっても社会人1年目です。手技の未熟さや、コミュニケーション不足により、患者さんにご迷惑をお掛けすることがないように、指導医がしっかりと監督・指導いたします。未来の人材育成のため、温かく見守っていただければ幸いです。

1年目
研修医

ながおか ゆうま
長岡 佑磨



研修医は医療を学ぶ研修生であると同時に、医師免許を有する医師という二つの役割があります。日々研さんを積みながら、上級医の適切な指導のもと患者さんの診療に尽力しておりますので、研修医という存在を医療チームの一員として温かく受け入れてくださいますと幸いです。



2024年度は13名の1年目研修医が当院で働いています。

news & topics

京都岡本記念病院 日本薬学教育学会の教育実践奨励賞を受賞

京都岡本記念病院 薬剤部の瓦比呂子課長が「先進的な薬剤業務の展開を基盤とした薬剤師教育の実践」の題目で日本薬学教育学会の教育実践奨励賞を受賞しました。歴代の受賞者には大学薬学部所属が多く名を連ね、民間病院の薬剤師が受賞するのは希少です。

救急認定薬剤師である瓦課長は、救急現場で活躍できる薬剤師育成に尽力。また、日本薬学教育学会での大学関係者と協働したワークショップ開催など、薬剤師育成や大学・医療施設との連携が評価されました。

受賞のことは

受賞講演では大学の先生方から「刺激を受けた」といった感想をいただき、民間病院の薬剤師の働きについてお話しする機会に恵まれ良かったなと思います。今後も近畿救急薬剤師検討会の活動を通し、救急業務に対する病院薬剤師のハードルを下げられたらと思います。



伏見岡本病院 京都府スポーツ指導者研修会で講演

公益財団法人日本スポーツ協会らが主催する京都府スポーツ指導者研修会が7月14日、京都府スポーツセンター(南区)で行われ、伏見岡本病院リハビリテーション科から理学療法士の村上拓矢が「熱中症を中心とした現場対応と予防」と題して講演しました。今夏は熱中症での救急搬送も多く報道され、参加したスポーツ指導者らは熱心に聴いていました。

